令和９年度
琉球大学病院

看護師特定行為研修
募集要項 2027



琉球大学病院（西普天間キャンパス）

【令和9年度4月研修生募集用】

琉球大学病院　総合研修・教育センター

琉球大学病院
看護師特定行為研修募集要項

目　　次

１．琉球大学病院の理念と基本方針 1
２．琉球大学病院看護師特定行為研修の沿革 1
３．琉球大学病院看護師特定行為研修計画の基本理念・目的と特徴 1
４．受講者の条件 2
５．研修期間と募集時期 2
６．定　　員 3
７．研修内容と時間数 4
８．履修モデル 7
９．履修科目の免除について 8
10．修了要件 8
11．出願手続き 8
12．受講手続きについて 11
13．受講料一覧表 12
14．今後の予定 13

〇出願書類
・受講願書 14
・履歴書 15
・受講志願理由書（様式１） 17
・推薦書（様式２－１、２－２） 18
・既修得科目等履修免除申請書（別紙様式第２号） 20

〇個人情報の取り扱いについて 21
〇アクセス 22

１．琉球大学病院の理念と基本方針

琉球大学病院（以下「本院」という。）は「病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する。」という理念を掲げ、１）生命の尊厳を重んじた人間性豊かな医療の実践、２）地域の医療・保健・福祉に対する貢献、３）専門性及び国際性を備える優れた医療人の育成、４）先端医療技術の開発・応用・評価、５）働きやすくやりがいのある職場環境の整備を本院の基本方針としています。

本院は、沖縄県唯一の特定機能病院であり、基幹型臨床研修病院として臨床研修医の育成や専門医の育成を行うとともに、感染症やがん治療などを中心に高度医療および地域医療を担い、その使命と役割を果たすとともに、東南アジア地域における医療拠点としての貢献を目指しています。

２．琉球大学病院看護師特定行為研修の沿革

わが国の 65 歳以上人口は 3624 万人で、総人口に占める割合は 29.6％となり（2026 年 9 月 20 日現在推計)、超高齢社会構造にあるとされています。

より一層、高まる医療ニーズに対応し、今後の医療を支えていくために、「保健師助産師看護師法」の一部改正によって、2015 年 10 月より「特定行為研修」を修了した看護師が医師による手順書に従い特定行為を行うことが可能となりました。

本院は、上記の理念を踏まえ、地域医療及びチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たすことのできる高度かつ専門的な臨床実践能力を有する看護師を育成するため、2018 年より、看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）に取り組んでいます。

３．琉球大学病院看護師特定行為研修計画の基本理念・目的と特徴

【基本理念】

本研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者及び県民並びに医師及び歯科医師その他医療関係者から期待される役割を十分に担うため、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できるよう、自己研鑽を継続できる基盤を構築することを理念としています。

【教育目的】

本研修は、沖縄県における地域医療及び在宅医療に貢献できる看護師を養成すべく、本院と地域の病院・施設（訪問看護ステーション含む）などと連携し、「医師が予め作成した手順書(指示)によって特定行為を適切に実施できる看護師を育成する事」を目的としています。

本院の熱意ある指導者による充実した研修体制のもと、実践的な理解力、思考力、判断力を有し、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされる特定行為を実施できる看護師を養成します。

【教育目標】

1．臨床現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
2．臨床現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
3．臨床現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

【特　　徴】

・ 教育経験豊富な研修指導者や教育者による充実した研修指導体制
・ おきなわクリニカルシミュレーションセンターを利用し、公平かつ一貫した高度な研修に対応が可能
・ 離島・へき地、小規模施設の看護職が受講しやすい学習環境の支援
・ 臨床経験豊富な医師及び歯科医師によって作成された手順書に基づいた指導
・ キャリア形成支援センターによるサポート体制

４．受講者の条件

次に定める要件を全て満たしていることが必要です。

① 日本国の看護師免許取得者であること。
② 原則として、通算５年以上の臨床実務経験を有する看護師（ただし、准看護師としての経験は除く。）。
③ 本研修で開講される講義、演習、実習を本院で受講可能な者（ただし、現在の勤務を継続しながら受講することも可能な範囲で考慮する。）。
④ 看護職賠償責任保険に加入していること。

５．研修期間と募集時期

原則１年（12 か月）とし、在籍期間は、２年（24 か月）を限度とする。

【期間１※1】　令和９年４月１日　～　令和１０年３月３１日
【期間２※2】　令和９年４月１日　～　令和９年９月３０日
【期間３※2】　令和９年９月１日　～　令和１０年３月３１日

【募集時期】　年１回

※1 共通科目を履修後、区分別科目を受講開始します。
※2 一部履修免除の対象となる者（令和 9 年 3 月 31 日までに共通科目を修了した者）

６．定員（最大７５名※1）

		科 目 名			定 員
共通科目	必修	共通科目（６科目）（必修）			16 名
※3 区分別科目	必修	①	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）※2		16 名
	選択	②	動脈血液ガス分析関連		3 名
		③	呼吸器(気道確保に係るもの)関連		3 名
		④	血糖コントロールに係る薬剤投与関連		16 名
		⑤	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連		3 名
		⑥	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		3 名
		⑦	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		3 名
		⑧	胸腔ドレーン管理関連		2 名
		⑨	腹腔ドレーン管理関連		3 名
		⑩	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		3 名
		⑪	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		3 名
		⑫	心嚢ドレーン管理関連		3 名
		⑬	創傷管理関連		3 名
		⑭	透析管理関連		3 名
		⑮	循環動態に係る薬剤投与関連		3 名
		⑯	術後疼痛管理関連		3 名
※4 領域別パッケージ研修		⑰	救急領域（パッケージ研修）※5	特定行為「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含みます。	3 名
		⑱	外科系基本領域（パッケージ研修）※5		3 名
		⑲	在宅・慢性期領域（パッケージ研修）※5		3 名
		⑳	周術期麻酔管理領域（パッケージ研修）※5		3 名
		㉑	集中治療領域（パッケージ研修）※6	別途「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を履修する。	2 名

※1　すべての科目の受講生の合計は、最大 75 名（延べ人数）です。

※2　①「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、必ず履修する必要があります。①の定員には⑰～⑳の領域別パッケージ研修の定員を含みます。

※3　一度に選択できる区分別科目は、①の必修科目を含め 3 区分までとします。

※4　領域別パッケージ研修を選択する場合、①の必修科目の他、選択科目から④「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能です。

※5　①「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、領域別パッケージ研修における一部免除の対象ではありません。

※6　㉑「集中治療領域」は、必修科目①「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を併せて履修する必要があります。

７．研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習（またはシミュレーション実習）、臨床実習によって行われます。

(1) 共通科目（必修科目）：

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目です。

①e ラーニングを中心とした講義及び演習を受講し、全ての科目において確認テストに合格する必要があります。

②また、「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医療安全学／特定行為実践」は確認テストに合格後、実習へ進み観察評価が行われます。

（研修期間：約５か月）

	共通科目名	受講時間
1	臨床病態生理学	31.0 時間
2	臨床推論	45.0 時間
3	フィジカルアセスメント	45.0 時間
4	臨床薬理学	45.0 時間
5	疾病・臨床病態概論	41.0 時間
6	医療安全学/特定行為実践	45.0 時間
	合計時間数	**252.0 時間**

(2) 区分別科目および領域別パッケージ研修：

＜区分別科目＞

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目です。

①e ラーニングによる講義を受講し、確認テストに合格する必要があります。

②演習またはシミュレーション実習後（一部実技試験に合格）に、臨床実習へ進みます。

③臨床実習では、症例ごとに観察評価を行います。

④規定の症例数を経験後、最終評価として実習総合評価を実施します。

⑤受講時間に実習時間は含まれません。実習では、規定の症例数を経験する必要があります。

＜領域別パッケージ研修＞

区分や特定行為をまとめて研修した方が現場で活用に資すると考えられる領域について、領域別に実施頻度が高い特定行為をパッケージ化し研修します。

領域別パッケージ研修では、各領域において一般的な患者の状態を想定し、特定の領域において実施頻度の高い特定行為をまとめ、当該特定行為研修に係る特定行為の一部を免除した研修を行うことができます。

（研修期間：約１～７か月）

	区分別科目名	受講時間 ※実習時間を除く	症例数
＜区分別科目＞※1			
1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）※2	20.0 時間	5 症例×2 行為
2	動脈血液ガス分析関連	13.0 時間	5 症例×2 行為

3	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9.0 時間	5 症例
4	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16.0 時間	5 症例
5	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29.0 時間	5 症例×4 行為
6	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	26.0 時間	5 症例×3 行為
7	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8.0 時間	5 症例
8	胸腔ドレーン管理関連	13.0 時間	5 症例×2 行為
9	腹腔ドレーン管理関連	8.0 時間	5 症例
10	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7.0 時間	5 症例
11	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	9.0 時間	5 症例
12	心嚢ドレーン管理関連	8 時間	5 症例
13	創傷管理関連	34 時間	5 症例×2 行為
14	透析管理関連	11 時間	5 症例
15	循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間	5 症例×5 行為
16	術後疼痛管理関連	8.0 時間	5 症例×1 行為
＜領域別パッケージ研修＞※3			
17	救急領域※4	85.0 時間	5 症例×10 行為
「救急領域」内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含む**	20.0 時間	5 症例×2 行為
	動脈血液ガス分析関連	13.0 時間	5 症例×2 行為
	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	9.0 時間	5 症例×1 行為
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29.0 時間	5 症例×4 行為
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 **＊「抗精神病薬の臨時の投与」「抗不安薬の臨時の投与」を除く**	14.0 時間	5 症例×1 行為
18	外科系基本領域※4	105.0 時間	5 症例×8 行為
「外科系基本領域」内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含む**	20.0 時間	5 症例×2 行為
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7.0 時間	5 症例×1 行為
	創傷管理関連 **＊「創傷に対する陰圧閉鎖療法」を除く**	26.0 時間	5 症例×1 行為
	創部ドレーン管理関連	6.0 時間	5 症例×1 行為
	動脈血液ガス分析関連 **＊「橈骨動脈ラインの確保」を除く**	9.0 時間	5 症例×1 行為
	感染に係る薬剤投与関連	29.0 時間	5 症例×1 行為
	術後疼痛管理関連	8.0 時間	5 症例×1 行為

19	在宅・慢性期領域※4	70.0 時間	5 症例×5 行為
「在宅・慢性期領域」内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含む**	20.0 時間	5 症例×2 行為
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8.0 時間	5 症例×1 行為
	ろう孔管理関連 **＊「膀胱ろうカテーテルの交換」を除く**	16.0 時間	5 症例×1 行為
	創傷管理関連 **＊「創傷に対する陰圧閉鎖療法」を除く**	26.0 時間	5 症例×1 行為
20	周術期麻酔管理領域※4	79.0 時間	5 症例×9 行為
「周術期麻酔管理領域」内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」を含む**	20.0 時間	5 症例×2 行為
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9.0 時間	5 症例×1 行為
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 **＊「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」「人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整」を除く**	17.0 時間	5 症例×2 行為
	動脈血液ガス分析関連	13.0 時間	5 症例×2 行為
	術後疼痛管理関連	8.0 時間	5 症例×1 行為
	循環動態に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整」「持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整」「持続点滴中の降圧剤の投与量の調整」「持続点滴中の利尿剤の投与量の調整」を除く**	12.0 時間	5 症例×1 行為
21	集中治療領域※5	76.0 時間	5 症例×10 行為
「集中治療領域」内訳	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9.0 時間	5 症例×1 行為
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 **＊「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」を除く**	23.0 時間	5 症例×3 行為
	循環動態に係る薬剤投与関連 **＊「一時的ペースメーカリードの抜去」「経皮的心肺補助装置の操作及び管理」「大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整」を除く**	8.0 時間	5 症例×1 行為
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	7.0 時間	5 症例×1 行為
	動脈血液ガス分析関連 **＊「直接動脈穿刺法による採血」を除く**	9.0 時間	5 症例×1 行為
	循環動態に係る薬剤投与関連 **＊「持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整」「持続点滴中の利尿剤の投与量の調整」を除く**	20.0 時間	5 症例×3 行為

※1 一度に選択できる区分別科目は必修科目を含め３区分までとします。

※2「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、必ず履修する必要があります。

※3 領域別パッケージ研修を選択する場合、必修科目の他、選択科目から「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能です。

※4 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、領域別パッケージ研修における一部免除の対象ではありません。

※5 「集中治療領域」は、必修科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を併せて履修する必要があります。

８．履修モデル

(1) 共通科目を約５か月履修後に、選択した区分別科目を履修します。
(2) 「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修科目です。必ず履修する必要があります。
(3) 一度に受講できる区分は必修科目を含め、３区分までとします。
(4) 領域別パッケージ研修は、必修科目の他、選択科目から「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能です。
(5) 区分別科目毎に期間が異なります。
(6) 区分別科目の実習は、実習期間のうち所定のクール（5 日間連続/1 クール）を選択し実施します。所定の症例数に満たない場合は実習を追加します。

●モデル１（共通科目＋１科目の区分別科目を受講）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
共通科目（6 科目）												
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(必修)												

●モデル２（共通科目＋２科目の区分別科目を受講）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
共通科目（6 科目）												
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(必修)												
呼吸器（気道確保に係るもの）関連												

●モデル３（区分別科目 2 科目を受講）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連												
動脈血液ガス分析関連												

※「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を受講済みの場合に限ります。

●モデル４（区分別科目3科目を受講）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
動脈血液ガス分析関連												
呼吸器（気道確保に係るもの）関連												
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連												

※「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を履修済みの場合に限ります。

●モデル５（領域別パッケージ研修を受講）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
共通科目（6 科目）												
領域別パッケージ研修「救急領域」												

※区分別科目は、講義・演習・筆記試験・OSCE 終了後に、臨床実習を行います。
症例が不足する場合は実習期間を延長します。

９．履修科目の免除について

本院または、本院以外で履修した授業科目の履修免除については、本院の研修管理委員会で承認された場合に限ります。

なお、区分別科目において、一部の特定行為が履修免除となる場合でも、区分別科目を修得済みではないため、受講料の減額はありません。

10. 修了要件

本研修を修了するためには、以下の要件を満たし、本院の特定行為研修管理委員会において修了認定される必要があります。

(1) 共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。

(2) (1) を修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では実技試験に合格すること。

(3) 区分別科目の実習においては、必要な症例数を経験すること。

＊なお、特定行為研修修了後は、「保健師助産師看護師法第３７条の２第２項第１号に規定する特定行為及び同項第４号に規定する特定行為研修に関する省令」に基づき琉球大学病院において修了した特定行為区分の修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

11. 出願手続き

(1) **出願受付期間**

令和８年１２月１日（火）～１２月２５日（金）当日必着

(2) **出願方法について**

＊出願書類は、電子ファイルでの提出になります。

① 「専用申し込みフォーム」に必要事項を入力の上、お申し込みください。

申込ＵＲＬとＱＲコード：

https://forms.cloud.microsoft/r/K6cjuLeuJH

② ①にご入力いただいたメールアドレスへ、出願書類と出願方法を送付します。

③ お申し込み後、ご登録いただいたアドレスにメールが届かない場合は、本件照会先へご連絡ください。

本件照会先：
琉球大学病院　総合研修・教育センター（特定行為研修担当）
TEL：098-894-1394（直通）、E-mal：kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp

(3) **出願書類**

- 出願書類はすべて電子ファイルでの提出となります。
- 出願様式と提出方法については、専用申し込みフォームにご登録のメールアドレスへ送付します。詳細はメールをご確認ください。

出願書類	適　　用
1 受講願書	**様式１**
2 履歴書	**様式2**
3 証明写真（履歴書用）	**写真データ** ・3か月以内撮影　・上半身、無帽、正面向、無背景　・縦４㎝×横３㎝
4 受講志願理由書	**様式3**
5 推 薦 書	**様式4－１（琉球大学病院の職員）** **様式4－２（琉球大学病院以外の職員用）** 原則として、施設代表者による推薦書とします。
6 看護師免許証（写し）	看護師免許証をスキャンしたデータ **※改姓され免許証の裏面に登録日が表記されている場合は、両面をスキャンする。**
7 勤務証明書	琉球大学病院の職員以外 **※自病院の様式可。**
8 受講審査料納付証明書	**受講審査料 10,000 円(消費税含む)の振込を確認できる書類**
既修得科目の履修免除を申請する場合（該当者のみ）	
9 既修得科目等履修免除申請書	**別紙様式第２号**
10 既修得科目等履修証明書	特定行為研修の修了証(写し)又は科目別履修(見込)証明書

(4) **受講審査料について**

1. 受講審査料　　１０，０００円

2. 受講審査料振込期間
   令和 ８年 １１月 ２４日（火）～１２月 ２５日（金）

3. 振込方法
① 銀行窓口（「各金融機関備付の振込依頼書」による振込）
② ＡＴＭまたはインターネットバンキング

振込依頼人を必ず志願者本人にして、氏名の前に募集区分の 3 桁の数字
（特定行為研修は１０９）を記入し、次に志願者本人の氏名を記入してください。

（例） １０９ダイガクタロウ

※振込手数料については、志願者本人負担となります。
※納付後、振り込みの事実が分かる書類の写しを提出してください。

＜振込先＞

銀行名	琉球銀行
支店名	宜野湾支店
預金種別	普通預金
口座番号	４３０４１１
口座名義（カナ）	コクリツダイガクホウジンリュウキュウダイガク

4. 留意事項

ア．受講審査料が振込まれていない場合は出願書類を受理しません。
振り込みの事実が分かる書類を送付してください。
（振込日時・振込金額がわかる明細、ATM の振込明細書、インターネットバンキングでの振り込み内容がわかる画面コピーの写し等）
イ．既納の受講審査料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

①受講審査料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）
②誤って受講審査料を二重に振込んだ場合

※上記①、②に該当する場合は、本件紹介先へご連絡ください。

(5) 選考方法及び合否について

選考は書類審査・面接（Web）により行います。
面接日時は、履歴書(Excel)に入力されたメールアドレスへ電子メールで送付します。
合否については、履歴書（Excel）に入力された住所へ 2 月下旬頃、本人宛、レターパックで送付します。2 月下旬までにお手元に届かない場合は、本件照会先へご連絡ください。
なお、合否に関する問い合わせには応じられません。

◆面 接 予 定 日：令和９年１月１８日（月）～２９日（金）　午後

◆選考結果通知：令和９年２月下旬

12. 受講手続きについて

(1) 受講手続き期間について

令和９年３月１日（月）～３月１２日（金）17:00まで

(2) 納付金について

① 納付金について、別紙受講料一覧表をご参照ください。
② 受講料の納付金(消費税込)は、入講式（入講許可日）から所定の期日迄に振込みをお願いします。
③ 納入した受講料は原則返還しません。
④ 所定の期日迄に受講料の納付(振込)が確認出来ない場合は退講とします。

【受構手続き資料及び振込先】

・合格者へ一式書類としてレターパックで送付します。

(3) その他

① 研修のための宿泊及び交通費等は実費負担となります。
② 合格者は、以下の書類の提出が必要です。
a)看護職賠償責任保険の加入証明書の写し（特定行為研修が適用している保険等）
b)次に挙げる予防接種証明書
【必須】麻疹、風疹、水痘、ムンプス
【任意】その他予防接種証明（HBｓ、インフルエンザなど）

【本件照会先】

〒901-2725　沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地
琉球大学病院　総合研修・教育センター（特定行為研修担当）
TEL：098-894-1394（直通）、内線 1394
e-mail：kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp

【受講料一覧表】

（必修）共通科目の受講料
（必修）区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」受講料
（選択）希望する区分別科目・領域別パッケージ研修の受講料
受講料は、**入講式（受講許可日）以降の一括納入**となります。

（消費税込み）

科 目 名			受講料
共通科目（必修）※1			**448,150 円**
※2 区分別科目	**栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）**※1		**39,720 円**
	動脈血液ガス分析関連		**48,890 円**
	呼吸器(気道確保に係るもの)関連		**45,000 円**
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連		**48,000 円**
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連		**151,000 円**
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		**123,000 円**
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		**45,000 円**
	胸腔ドレーン管理関連		**122,000 円**
	腹腔ドレーン管理関連		**51,000 円**
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		**97,000 円**
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		**75,000 円**
	心嚢ドレーン管理関連		**47,000 円**
	創傷管理関連		**144,000 円**
	透析管理関連		**41,000 円**
	循環動態に係る薬剤投与関連		**117,000 円**
	術後疼痛管理関連		**60,000 円**
※1 領域別パッケージ研修	救急領域		**375,610 円**
	内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）	39,720 円
		動脈血液ガス分析関連	48,890 円
		呼吸器(気道確保に係るもの)関連	45,000 円
		呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	151,000 円
		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 ＊「抗精神病薬の臨時の投与」「抗不安薬の臨時の投与」を除く	91,000 円
	外科系基本領域		**462,150 円**
	内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）	39,720 円
		創部ドレーン管理関連	23,430 円
		動脈血液ガス分析関連 ＊「橈骨動脈ラインの確保」を除く	41,000 円
		栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	97,000 円
		創傷管理関連 ＊「創傷に対する陰圧閉鎖療法」を除く	109,000 円
		感染に係る薬剤投与関連	92,000 円
		術後疼痛管理関連	60,000 円

	在宅・慢性期領域		286,720 円
	内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	39,720 円
		呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	45,000 円
		ろう孔管理関連 ＊「膀胱ろうカテーテルの交換」を除く	93,000 円
		創傷管理関連 ＊「創傷に対する陰圧閉鎖療法」を除く	109,000 円
	周術期麻酔管理領域		378,610 円
	内訳	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（必修）	39,720 円
		呼吸器（気道確保に係るもの）関連	45,000 円
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ＊「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」「人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整」を除く	119,000 円
		動脈血液ガス分析関連	48,890 円
		術後疼痛管理関連	60,000 円
		循環動態に係る薬剤投与関連 ＊「持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整」「持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整」「持続点滴中の降圧剤の投与量の調整」「持続点滴中の利尿剤の投与量の調整」を除く	66,000 円
	集中治療領域		496,000 円
	内訳	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	45,000 円
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ＊「非侵襲的陽圧換気の設定の変更」を除く	137,000 円
		循環動態に係る薬剤投与関連 ＊「一時的ペースメーカリードの抜去」「経皮的心肺補助装置の操作及び管理」「大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整」を除く	85,000 円
		栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	97,000 円
		動脈血液ガス分析関連 ＊「直接動脈穿刺法による採血」を除く	40,000 円
		循環動態に係る薬剤投与関連 ＊「持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整」「持続点滴中の利尿剤の投与量の調整」を除く	92,000 円

※１ 必修科目および領域別パッケージ研修における既修得科目は免除することができます。
※２ 区分別科目において、一部の特定行為が履修免除となる場合でも、区分別科目を修得済みではないため、受講料の減額はありません。

13. 今後の予定（令和９年度４月研修生）

・令和９年４月１日　　入講式・オリエンテーション
・令和９年４月２日　　共通科目受講開始
・令和９年９月上旬　　共通科目修了判定
・令和９年９月下旬　　区分別科目受講開始
・令和１０年２月下旬　　区分別科目修了判定
・令和１０年３月上旬　　特定行為修了判定会議
・令和１０年３月下旬　　特定行為修了式

（様式１）

受　講　願　書

（琉球大学病院　看護師特定行為研修）

令和　　年　　月　　日

琉球大学病院長　　殿

（申込者）住　所：

氏　名：

私は、下記の琉球大学病院看護師特定行為研修の受講を希望しており、関係書類を添えて提出します。

記

			科目名		受講希望に「○」
区分別科目 ※3	必修	①	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連※1,※2		
	選択	②	動脈血液ガス分析関連		
		③	呼吸器(気道確保に係るもの)関連		
		④	血糖コントロールに係る薬剤投与関連		
		⑤	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連		
		⑥	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		
		⑦	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連		
		⑧	胸腔ドレーン管理関連		
		⑨	腹腔ドレーン管理関連		
		⑩	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連		
		⑪	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連		
		⑫	心嚢ドレーン管理関連		
		⑬	創傷管理関連		
		⑭	透析管理関連		
		⑮	循環動態に係る薬剤投与関連		
		⑯	術後疼痛管理関連		
パッケージ研修 領域別 ※2 ※4		⑰	救急領域（パッケージ研修）		
		⑱	外科系基本領域（パッケージ研修）		
		⑲	在宅・慢性期領域（パッケージ研修）		
		⑳	術中麻酔管理領域（パッケージ研修）		
		㉑	集中治療領域（パッケージ研修）※5	別途「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を履修する。	

※1　「共通科目」及び①「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」は必修のため、必ず履修する。

※2　既に履修済みの科目について、履修免除を希望する場合は、既修得科目履修免除申請を行う必要がある。

※3　区分別科目は①の必修科目を含め、一度に選択できる区分別科目は3区分までとする。

※4　領域別パッケージ研修を選択する場合、①の必修科目の他、選択科目から④「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」のみ併願可能とする。

※5　㉑「集中治療領域」は、必修科目①「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を併せて履修する必要がある。

（様式２）

履　　歴　　書

記入日：　令和　　年　　月　　日

フリガナ			**写真貼付欄** ・３か月以内撮影 ・上半身、無帽、正面向、無背景
氏名	性別（　　）		
生年月日(年齢)	平成　　年　　月　　日生　（満　　歳）		
自宅住所	（〒　　－　　）		
電話番号	（自宅）　　（　　）		
メールアドレス			
緊急連絡先 (携帯)	電話番号 ：　　（　　）		
	メールアドレス ：		
通学時間等	本院までの通学時間　（　　）分		
	主な通学手段　（　　その他（　　））		

所属先	フリガナ			
	名　　称			
	所 在 地	（〒　　－　　）		
	電話番号	（　　）	FAX番号	（　　）
	職　　種		職　　位	

	学校名称（学部・学科・学位名） ※高等学校以上を記載してください。	入学年月	卒業年月
学歴・学位等	（　　）	年　　月	年　　月
	（　　）	年　　月	年　　月
	（　　）	年　　月	年　　月
	（　　）	年　　月	年　　月
	（　　）	年　　月	年　　月

免許・資格	看護師	平成　　年　　月　　日 免許取得　（第　　号）		
	保健師	平成　　年　　月　　日 免許取得　（第　　号）		
	助産師	平成　　年　　月　　日 免許取得　（第　　号）		
	その他	免許・資格名 （取得分野名称等（例：看護分野））	取得年月日	番　号
		（　　）	年　　月	
		（　　）	年　　月	
		（　　）	年　　月	
		（　　）	年　　月	
		（　　）	年　　月	
		（　　）	年　　月	

職歴	施設名	勤務歴	在籍年数	診療科等	職位等
		年　月　日 ～ 年　月　日	年		
		年　月　日 ～ 年　月　日	年		
		年　月　日 ～ 年　月　日	年		
		年　月　日 ～ 年　月　日	年		
		年　月　日 ～ 年　月　日	年		

現在の職務内容	（主な対象と看護内容を具体的に記載してください。）		
所属学会		備考欄	**※応募する区分に関連する研修の受講歴等**

（様式３）

受 講 志 願 理 由 書

年　　月　　日

氏名：

〇受講志願特定行為区分名

【 志願理由（字数は問いません） 】

（様式４－１）琉球大学病院の職員用

推　薦　書

琉球大学病院長　　殿

所　　属＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　位＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属部門長(等)名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（推薦者:自署）

琉球大学病院看護師特定行為研修の受講者として、下記の者を推薦します。

記

〇被推薦者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（職位：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

〇被推薦者が志願する特定行為区分名

＿＿

【 推薦理由 】 ※現在の職務内容及び受講終了後の期待される役割などを記載してください。

（様式４－２）琉球大学病院以外の職員用

推　薦　書

琉球大学病院長　　殿

所　　属＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　位＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

施設代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（推薦者:自署）

琉球大学病院看護師特定行為研修の受講者として、下記の者を推薦します。

記

〇被推薦者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（職位：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

〇被推薦者が志願する特定行為区分名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【 推薦理由 】 ※現在の職務内容及び受講終了後の期待される役割などを記載してください。

〇被推薦者の貴施設での実習指導の希望について（該当箇所に☑してください）：　□有　・　□無

※実習者指導のできる医師の指導者が必要となります。医師の指導者は、臨床研修における指導医講習会を受講した医師をいいます。

※また、琉球大学病院の研修協力施設として、厚生労働省への登録が必要となります。

別紙様式第２号

既修得科目等履修免除申請書

琉球大学病院長　殿

年　　月　　日
研修生番号
氏　名（自署）

私は、琉球大学病院の看護師特定行為研修において、下記の科目の履修免除を申請いたします。

記

下欄をご記入ください。

科目名	受講開始及び修了年月日	修了番号
	年　月　日受講開始 年　月　日受講（ 修了 ・ 修了見込 ）	
	年　月　日受講開始 年　月　日受講（ 修了 ・ 修了見込 ）	
	年　月　日受講開始 年　月　日受講（ 修了 ・ 修了見込 ）	
	年　月　日受講開始 年　月　日受講（ 修了 ・ 修了見込 ）	

◎個人情報の取り扱いについて

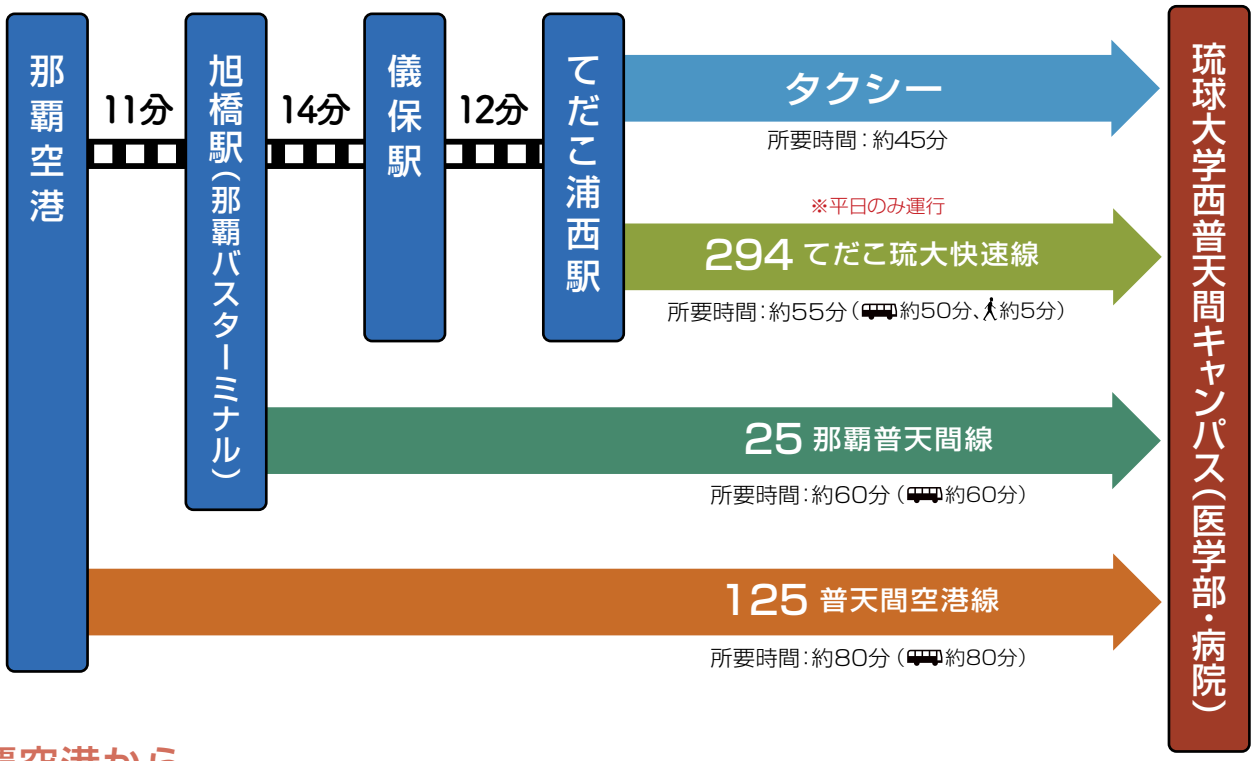
琉球大学病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続にあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、本院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

〇募集要項に関する問い合わせ
琉球大学病院　総合研修・教育センター
看護師特定行為研修担当

住所：〒901-2725　沖縄県宜野湾市字喜友名 1076 番地
電話：098-894-1394（直通）、内線 1394
E-mail： kensyu@acs.u-ryukyu.ac.jp

アクセス

那覇空港からモノレール



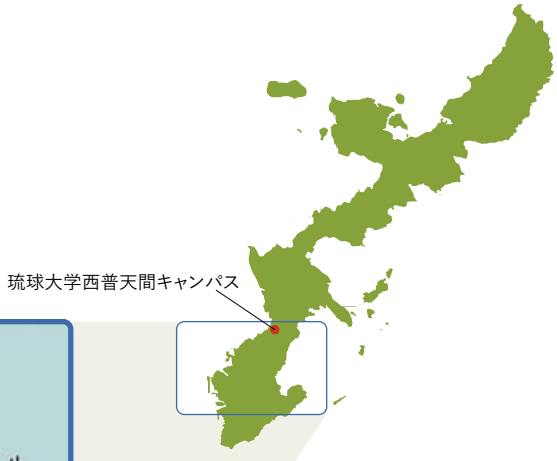
那覇空港から

【タクシー】所要時間：約45分

那覇空港→沖縄自動車道（西原IC）→国道330号→琉球大学医学部・病院

那覇空港→国道58号→（伊佐から）県道81号→琉球大学医学部・病院





琉球大学

大学院/医学研究科・保健学研究科

医学部/医学科・保健学科

〒901-2720

沖縄県宜野湾市字喜友名1076番地

TEL(098)894-1301(代)

https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/